

食品新聞

発行所 食品新聞社
<https://www.shokuhin.net>
 大阪市北区西天満5-10-17
 郵便番号 300-0047
 電話 06 (6361) 4972(代)
 東京都中央区入船1-9-8
 郵便番号 104-0032
 電話 03 (3552) 3756-4031
 名古屋市中央区丸の内2-10-11
 リブツ丸の内 305号
 郵便番号 460-0006
 電話 052 (221) 5391(代)
 (支局) 広島・福岡
 ◎ 食品新聞社 2020
 THE JAPAN FOOD NEWS
 購読料 半年33,346円

永谷園の
お茶づけ海苔

「地域経済再活性へ第一歩
「ウイズコロナ」食品流通の在り方

食品スーパーの新激戦区に

併い相次いで店舗をオープンする。中でも、MV東海は今後の出店戦略上、同地区を重点地域と定めており、競合環境の激化は避けられない。勢力図の塗り替えが、どのように進んでいくのか注目される。

複合商業施設相次ぐ開業で競合参入

豊田市の「四郷」や「トウワン」（仮称）と岡崎市の「イオンタウン岡崎美合」では、M・V東海が出店。一方、岡崎市内に商業施設（仮称）を開業する「岡崎駅複合ビル」がオリーブ。さらに、西三河隣接接する東郷町では「ららぽーと愛知東郷町」（仮称）が9月にオリーブが予定。中部エリアでは最大規模のショッピングセンターとなる予定で、食品スーパーは平和が入る。西三河エリアでは、岡崎市に本社を置く「ディーエス・ピー」が、フィリス、豊田市地盤の「スーパーやまのぶ」など地盤食品S.Mが店舗を展開。近年は、食品構成比率が高められたラッグス・アジアの反攻も進んでいる。

今秋ランドオワン

国分グル
ープ本社は
7月15日に
東京・帝国
ホテルで
「国分輸入
洋酒展示試
る。19日に
開催に当り
側とも綿密
ね、感染防
前予約で時
を制限し、こ
ることや、接
触を避ける
工夫するな

感染対策を徹底、
自粛ムード打開へ

を開催す
を表した。
は、ホテル
合わせを重
を徹底。事
の来場人数
態を回避す
リ等手段で
提供方法を
全の体制を

国分グループ本社

取る。
会場では、国分グループが
取り扱う国のワインやウイ
スキー、リキュールなど約3
00アイテム、厳選酒やオ
リジナル食品、昨年グルー
プ化したヌヴェル・セレクシ
ョンの厳選ワインなどを紹介
する。
コロナ禍で食品業界でもイ
う。

ベント自粛が相次いでいた
が、緊急事態宣言の解除後、
19日は国内移動制限が解か
れ、少しずつ経済活動が動き
始めた。
同社では「酒類業界の早期
復旧と自粛ムードからの打開
の意味も込め、本展示試飲会
を通じて貢献したい」とい

国分グループ本社

取る。

会場では、国分グループが取り扱う各のワインやウイスキー、リキュールなど約3,000アイテム、厳選酒やオリジナル食品、昨年グループ化したヌヴェル・セレクシオンの厳選ワインなどを紹介する。

「コッパナ食品業界でもいう。ベント白蔵が相次いでいたが、緊急事態宣言の解除後、19日には国内移動制限が解かれ、少しずつ経済活動が動き始めた。

同社では「酒業界の早期復興と自粛ムードからの打開の意味も含め、本展示試飲会を通じて貢献したい」とい



種村 洋

菊水 新社長に
種村洋一郎 専務

の売上高100億円を達成。節目に社長を交代。次の100年に向けて組織でスタートする。

【略歴】種村洋一郎（なむら・よういちろう）▽生年月日1988年5月31日生まれ。20歳▽経歴1988年1月北海道自動車短期大学短期科（現北海道科学大学短期科）卒業。入社後、

ハ、ごき

20店舗、フードコートは1店舗が出店する予定。複合商業施設型は今回のコナカでテナント部分が長期休業を強いられるなど大きく苦戦した。緊急事態宣言解除から完全回復までの道のりは長いと思われが、今回の西三河エリアの新規開業ラッシュが起爆剤となっており、地域経済が活気を取り戻すきっかけとなることが期待される。

キリンビール
製造時期表示を年月に変更
10月1日から 缶・びんで

で製造・販売するビール、発泡酒、新ジャンル、ノンアルコールビールの缶・びん商品について、製造時期表示を従来の「年月旬」表示から10月1日製造分より「年月」表示に切り替える写真(イメージ)。

原料事情悪化で減産続く

一般食料缶びん詰 4千万箱割り込む

日本缶詰びん詰協会がまとめた19年（→12月）の缶詰・びん詰国内生産量は前年比5・9％減、257万5千ト（実箱換算、4億1千404万箱）となった。このうち、飲料缶詰を除く一般食料びん詰の生産量は前年比3・5％減の28万1千470ト（3千989万箱）。昨

19年の缶詰生産量

[illegible]

一般飼料缶（飲料を除く）減、調理・特殊缶（6 悪化で5千トの減少だ）増、30万箱）
 万）増、20万5千ト増、4・6%減、4・4%減と軒並み減産が、一昨年度では15%増 赤貝（56%増）
 20万5千ト増、2千798トとなった。食肉缶（7・5%増は前年より回復した）
 水産缶（5・5%増は「やきとり」缶は8・6%増（7千8百71ト）
 2・2%減、果実缶（2・2%増）が伸長 54ト、118万箱）とが、依然低水準にあり、
 「コーヒ缶」が伸長 54ト、118万箱）とが、依然低水準にある。
 減）、野菜缶（4・4%）した。飲料缶は6・2%伸長。原料状況に恵まれている。

■19年の缶詰・びん詰・レトルト食品生産量■

	内容重量 (t)	実箱 (千箱)	前年比 (%)
(丸缶)			
水産缶	98,716	14,855	94.5
果実缶	28,154	3,043	97.8
野菜缶	99,594	3,522	96.0
ジャム	177	9	75
食肉缶	6,828	1,405	107.7
調理・特殊缶	37,858	5,146	93.6
飲料缶	2,290,947	374,141	93.8
丸缶計	2,496,274	402,121	93.9
飲料除く丸缶計	265,327	27,980	95.4
(大缶)			
たけのこ	2,085	190	82.4
トマト	1,801	97	109.4
ジャム	4,875	217	84.8
その他	21,080	1,129	109.6
大缶計	29,842	1,633	102.3
(びん詰)			
のり	5,201	688	100
ジャム	27,250	6,319	97.7
その他	16,849	3,297	97.4
びん詰計	49,301	10,285	97.9
総合計	2,575,417	414,039	94.1
飲料除く総合計	284,407	39,898	96.5
レトルト食品	383,200	57,014	101
ペットフード	10,899	2,017	106.4

飲料缶は、最大品目のコーヒーが9・8％減(3億2855万箱)。果実飲料は果実ドリンク、果粒入りが前年を上回ったが、果実ジュースが減少。野菜ジュースは13・9％減、トマトジュース6・5％増(240万箱)。野菜ミックス16・1％減(453万箱)。

逆光線

動園の重さ。▼目撃者は高速道路に驚いた。
 不動産関連で被害が発生し、普段6枚、墓地を日が戻ったと喜ぶ・葬儀関連
 3枚、パンドラファのインタビュ
 スム、進 ユ、動物園や公園
 救、紳士服たではしゃぐ子供たちの
 その他、果 笑顔とレビで見た。
 知らせて。県 第3波、第3波の襲来
 た。動制限はは知っているが、この
 経済活動が週末ばかりあらずの開
 日、折込など 放感乗るという
 量が、気に加え た、土曜日の折り込
 前に土曜日まチシに求人広告は一枚もない。経済活動
 ればまだあるの再開に向け世間が動き

からだにうれしい、ごまかけ習慣

すべての人を笑顔にしたい
ShinSei

